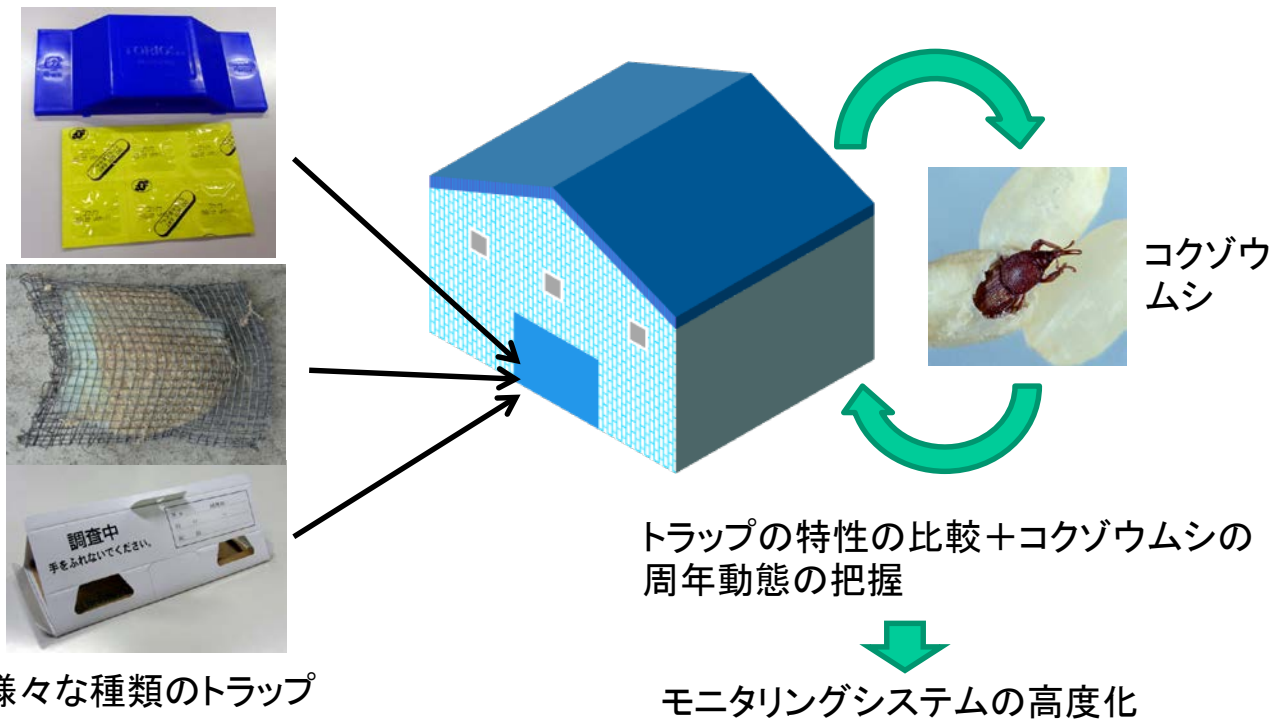


玄米貯蔵施設における貯蔵食品害虫の モニタリング技術

技術の特徴

- ・穀物貯蔵倉庫でコクゾウムシを中心とした貯蔵食品害虫が発生する場合がある。
- ・貯蔵食品害虫を効果的に防除し、被害を防ぐためには、その発生をモニタリングする必要がある。
- ・モニタリングには「トラップ」を用いるが、トラップにはフェロモントラップ、ベイトトラップ、粘着トラップらがあり、特性が異なる。

研究の内容



今後の展開

これらのトラップを用いて穀物貯蔵施設の周年調査を行い、トラップ効率の比較を行う。

参 考

- 今村太郎ら(2014)穀物乾燥調製・貯蔵施設における玄米ベイトトラップによる貯穀害虫およびその天敵相の調査. 食品総合研究所報告 (78), 1-9
- 松阪守ら(2009)玄米貯蔵倉庫における貯穀害虫の季節的変動について. 家屋害虫 31(1), 27-36